

風留神社 (かさとめじんじゃ)



土居町小林の風留地区と中村の松ノ木地区を結ぶ松風橋から東へ100mほどのところから細い路地を北へ下ったところに風留神社の小さな石の祠がある。

周りに石垣を積み、1mほどの高さの高台を作り、そこに2基の石の祠があり、向かって左側の祠の中に「風留神社」と書かれた石柱が安置されている。

四国中央市の中西部に当たる寒川地区からこの小富土地域に掛けてはやまじ風の強い地域で、昔からや風の被害に悩まされてきた地域である。東隣に位置する長津地区にも風留神社の石の祠が残されており、人々の強い願いを感じることができる。

元々は、旧道沿いの松風橋近くにあったようで、防火水槽建設により、地域住民によって60年ほど前に現在の位置に移されたようである。石の祠の背面に「昭和55年7月吉日建立 発起人 小林氏子中」と刻まれている。

この風留神社が「風留」の地区名の由来になったとも伝えられている。